

H27年度 7つの新たな保健事業に挑戦

実証事業の課題と今後の方向性

実証期間が1年と短く、本システムの改修・導入にも一定の期間を要したため、本システムの利活用による実質的な実証期間には制限があった。また、本来は健診結果をもってアウトカム評価とすべきであるが年度内事業としてはその実施までは至らなかった。従って、本システムの積極活用も含め、平成27年度も実証事業を継続したいと考えている。

生活習慣病の発症および重症化の予防を目的に保健事業の今後更なる強化を図り、本システムを起点とした新規事業についても次年度以降は検討したいと考えている。

